

## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月11日

上場会社名 コムシード株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 3739 URL <https://www.commseed.net/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 塚原 謙次  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 大久保 泰夫 TEL 03-5289-3111  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	989	-	80	-	69	-	39	-
2022年3月期第2四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

（注）包括利益 2023年3月期第2四半期 38百万円（-%） 2022年3月期第2四半期 一百万円（-%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	3.03	3.02
2022年3月期第2四半期	-	-

（注）2023年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2022年3月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,288	905	69.6
2022年3月期	1,235	861	69.0

（参考）自己資本 2023年3月期第2四半期 896百万円 2022年3月期 852百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2023年3月期	-	0.00	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

2023年3月期の業績予想については、現時点で合理的な算出が困難なため、記載しておりません。

詳細については添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご確認ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	13,129,916株	2022年3月期	13,118,116株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	148株	2022年3月期	148株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	13,119,966株	2022年3月期2Q	13,113,313株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期等との比較分析は行っていません。

また、当社は前連結会計年度までモバイル事業の単一セグメントとしておりましたが、第1四半期連結会計期間において、ブロックチェーン事業参入を目的とし、株式会社HashLinkを設立し子会社としたことから、同社を連結の範囲に含めるとともに、同社を含めた当社グループの営む事業について、今後の事業戦略等を踏まえ報告セグメントの見直しを検討した結果、第1四半期連結会計期間より「モバイル事業」及び「ブロックチェーン事業」へと報告セグメントを変更しております。

当社グループは、既存事業を維持しつつ新たな事業領域へ業容を拡大しており、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高989,043千円、営業利益80,055千円、経常利益69,987千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は39,738千円となりました。

セグメント別の経営成績と、展開する事業におけるサービス分野別の主な取り組みは以下のとおりであります。

#### （モバイル事業）

前四半期に引き続き、既存のソーシャルゲーム運営および新規ソーシャルカジノゲーム開発を進行しております。既存事業の売上高は堅調に推移しておりますが、利益面については新規事業における投資が先行しております。また、100%子会社である株式会社アイビープロGRESSで進行中の受託開発事業の収益が第3四半期以降に偏重する計画となっております。結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は847,134千円、セグメント損失は9,657千円となりました。

- ① ソーシャルゲームについては、主力サービスのバーチャルホール「グリパチ」が堅調に推移いたしました。定期的な新アプリの投入やYouTube生放送と連動したイベントなど、各種施策が功を奏し、安定した収益を確保しております。
- ② 従量制アプリについては、引き続き、第3四半期以降にリリース予定の複数タイトルに関する開発を進行いたしました。
- ③ 受託開発および運営業務に関しては、ストック型案件を中心に想定通りに推移しております。なお、フロー型案件については、株式会社アイビープロGRESSで進行している複数の受託開発収益が第3四半期以降に大幅に寄与していく計画です。
- ④ ゲーム内広告をはじめとする広告事業については、無料広告モデルのゲームをはじめとした施策が功を奏し、前年を大幅に上回るペースで推移しております。
- ⑤ その他新規事業につきましては、韓国子会社CommSeed Korea Co., Ltd. との日韓合同チームでソーシャルカジノプロジェクトの開発を進行いたしました。当プロジェクトは2022年中のサービス開始を目指して各種施策を進行しております。

#### （ブロックチェーン事業）

2022年4月に、当社グループのブロックチェーン事業を担う目的で、100%子会社である株式会社HashLinkを設立し、当第2四半期にはNFTプロジェクト『Tokyo Mongz Hills Club』の第1次販売、第2次販売を実施いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は141,908千円、セグメント利益は89,713千円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産は1,288,841千円となりました。

流動資産は1,002,437千円となり、主な内訳は現金及び預金474,878千円、受取手形、売掛金及び契約資産228,792千円、短期貸付金200,000千円であります。

固定資産は286,404千円となり、内訳は固定資産8,468千円、無形固定資産181,986千円、投資その他の資産95,949千円であります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は383,252千円となりました。

流動負債は323,889千円となり、主な内訳は買掛金94,830千円、1年内返済長期借入金27,819千円、未払法人税等40,196千円、契約負債43,995千円、その他100,314千円であります。

固定負債は59,362千円となり、主な内訳は長期借入金27,855千円、役員退職慰労引当金18,427千円であります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は905,589千円となりました。

主な内訳は資本金1,139,662千円、資本剰余金570,771千円と利益剰余金△820,193千円であります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は449,878千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は2,126千円となりました。

主な内訳は、税金等調整前四半期純利益69,987千円、減価償却費17,191千円を要因とした資金増加と、棚卸資産の増加19,420千円、その他流動資産の増加58,833千円、法人税等の支払額15,593千円を要因とした資金減少によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は208,265千円となりました。

主な内訳は、投資有価証券の償還による収入59,800千円を要因とした資金増加と、無形固定資産の取得による支出64,941千円、貸付による支出200,000千円を要因とした資金減少によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は15,162千円となりました。

主な内訳は、長期借入金の返済による支出15,174千円を要因とした資金減少によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、主力事業であるソーシャルゲーム「グリパチ」に加え、ゲームパブリッシング事業や安定した収益が見込める受託事業を軸に収益基盤を維持してまいります。そのうえで、当社グループが中長期的な成長を目指すには、「グリパチ」に続くコアタイトルの育成と収益源の多様化が重要となるため、新規タイトルの育成及び新規事業領域への挑戦等、新たな事業開拓を継続し、引き続き事業拡大を目指してまいります。

そうしたなかCommSeed Korea Co.,Ltdとの連携によるソーシャルカジノ開発、さらに株式会社アイビープログレスを子会社化し、開発人員の増強による利益率の向上及び、受託開発の強化を図りました。また、2022年4月にはNFT及びGameFi事業を推進していく株式会社HashLinkを設立しました。

2023年3月期の業績予想につきましては、売上高は既存事業が堅調に推移することを見込んでおりますが、当社グループを取り巻く事業環境は短期的な変化が激しいことに加え、利益面においてソーシャルカジノ開発に関する費用が先行投資的に増加することも見込まれること、さらには新規参入したブロックチェーン事業を取り巻く環境は、業界動向に状況が左右されやすく、暗号資産の価値の変動など非常にボラティリティの高い傾向があります。このため当社グループの業績も短期的に大きく変動することが想定されます。なお、現在新型コロナウイルス感染症の収束時期を予想することは困難ではあるものの、当グループに重要な影響を与える可能性は低いものと認識しております。

以上から、2023年3月期の通期業績の予想につきまして、現時点で合理的な算出は困難であるため、業績予想の開示を見合わせることにいたしました。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	690,756	474,878
受取手形、売掛金及び契約資産	237,966	228,792
棚卸資産	6,184	25,605
短期貸付金	—	200,000
その他	29,560	95,546
貸倒引当金	△22,386	△22,386
流動資産合計	942,082	1,002,437
固定資産		
有形固定資産	8,279	8,468
無形固定資産		
のれん	16,923	14,103
その他	119,340	167,883
無形固定資産合計	136,263	181,986
投資その他の資産		
その他	197,616	144,300
貸倒引当金	△48,742	△48,351
投資その他の資産合計	148,873	95,949
固定資産合計	293,417	286,404
資産合計	1,235,500	1,288,841
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	92,436	94,830
1年内返済予定の長期借入金	30,348	27,819
未払法人税等	24,828	40,196
未払消費税等	45,825	15,359
契約負債	41,038	43,995
引当金	1,373	1,374
その他	69,165	100,314
流動負債合計	305,015	323,889
固定負債		
長期借入金	40,500	27,855
役員退職慰労引当金	18,427	18,427
退職給付に係る負債	9,917	13,080
固定負債合計	68,845	59,362
負債合計	373,861	383,252
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,136,699	1,139,662
資本剰余金	567,808	570,771
利益剰余金	△859,931	△820,193
自己株式	△53	△53
株主資本合計	844,522	890,187
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	8,046	6,328
その他の包括利益累計額合計	8,046	6,328
新株予約権	9,070	9,074
純資産合計	861,638	905,589
負債純資産合計	1,235,500	1,288,841

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	989,043
売上原価	614,229
売上総利益	374,814
販売費及び一般管理費	294,758
営業利益	80,055
営業外収益	
受取利息	923
補助金収入	1,431
貸倒引当金戻入額	391
その他	453
営業外収益合計	3,199
営業外費用	
支払利息	319
暗号資産評価損	9,054
雑損失	3,183
その他	710
営業外費用合計	13,268
経常利益	69,987
税金等調整前四半期純利益	69,987
法人税、住民税及び事業税	33,287
法人税等調整額	△3,038
法人税等合計	30,248
四半期純利益	39,738
親会社株主に帰属する四半期純利益	39,738

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	39,738
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	△1,717
その他の包括利益合計	△1,717
四半期包括利益	38,020
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	38,020



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	69,987
減価償却費	17,191
のれん償却額	2,820
賞与引当金の増減額 (△は減少)	0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3,222
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△391
株式報酬費用	5,918
受取利息及び受取配当金	△923
支払利息	319
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	△2,325
売上債権の増減額 (△は増加)	3,374
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△19,420
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,394
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△58,833
前払費用の増減額 (△は増加)	△6,481
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△2,247
未払費用の増減額 (△は減少)	△2,599
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	5,110
小計	17,115
利息及び配当金の受取額	923
利息の支払額	△319
法人税等の支払額	△15,593
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,126
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△1,920
無形固定資産の取得による支出	△64,941
投資有価証券の償還による収入	59,800
貸付けによる支出	△200,000
貸付金の回収による収入	783
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△1,986
投資活動によるキャッシュ・フロー	△208,265
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済による支出	△15,174
新株予約権の行使による株式の発行による収入	11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,162
現金及び現金同等物に係る換算差額	424
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△220,877
現金及び現金同等物の期首残高	670,756
現金及び現金同等物の四半期末残高	449,878

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第2四半期連結累計期間において、第7回及び第8回新株予約権が権利行使され、資本金及び資本準備金がそれぞれ2,963千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が1,139,662千円、資本準備金が570,771千円となっております。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	合計
	モバイル事業	ブロックチェーン事業	計		
売上高					
一時点で顧客に移転される財又はサービス	670,266	141,908	812,174	—	812,174
一定の期間にわたり顧客に移転される財又はサービス	176,868	—	176,868	—	176,868
顧客との契約から生じる収益	847,134	141,908	989,043	—	989,043
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	847,134	141,908	989,043	—	989,043
セグメント利益又は損失(△)	△9,657	89,713	80,055	—	80,055

（注）セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、前連結会計年度までモバイル事業の単一セグメントとしておりましたが、2022年4月にブロックチェーン事業を目的とする株式会社HashLinkを設立し連結子会社としたことから、同社を含めた当社グループの営む事業について、今後の事業戦略等を踏まえ報告セグメントの見直しを検討した結果、第1四半期連結会計期間より「モバイル事業」及び「ブロックチェーン事業」へと報告セグメントを変更しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。